

■松永喜久 ファンとしてボクサーと結婚，ボクシング雑誌記者を60年続け，女性プロモーター第1号にもなった。

まっながきく

明治天皇没・1912＝ 東京市京橋区新富町に生れた。

原敬首相暗殺1921＝ 9歳：

海軍軍縮条約1930＝18歳：

満州事変・・1931＝19歳： 東京府立第一高女(白鷗高)を卒業し，和裁・長唄を習い，劇団{地球座}に属して演劇も勉強するうち，自宅前に東亜拳闘クラブが設立されると，ボクシングに興味をもち，ジムに出入りして試合を観戦。

五一五事件・1932＝20歳： 看板ボクサーだった松永喜久雄と結婚，夫は選手生活にピリオドを打つ。

帝人疑獄事件1934＝22歳： この年，郡司信夫が{ボクシング・ガゼット}を創刊，1男1女をもうけ，

日中戦争始・1937＝25歳： 夫の出征後も，必死に子どもと生活を守る。

第二次大戦始1939＝27歳：

日米開戦・・1941＝29歳：

創価学会検挙1943＝31歳： 戦局の拡大とともに，ボクシングも外来語の使用が禁止となり，年金+総武装 1944＝32歳： 遂に興行も前面禁止となる。

敗戦・・・1945＝33歳： 敗戦後，

新憲法公布・1946＝34歳： 日本一の共同ジムのボクシングホールが完成して，夫が日本拳闘(株)コーチに迎えられたのを機に，

新憲法施行・1947＝35歳： *{ボクシング・ガゼット}に加わって記者となり，同時に，ナショナルボクシング協会を設立し，女性プロモーター第1号としても活躍し始める。駐留軍回りのボクシング興行を手がけた。

極東裁判決・1948＝36歳：

独立回復・・1951＝39歳：

メーデー事件・ 1952＝40歳： この年，ベースボール・マガジン社が{プロレス&ボクシング}を創刊，

国連加盟・・1956＝44歳： *{ボクシング・ガゼット}がベースボール・マガジン社の{プロレス&ボクシング}に吸収合併され，新たに{ボクシング・マガジン}として創刊されたのに伴い移籍する。{ガゼット}で評判の高かった座談会は{マガジン}にも引き継がれ，

なべ底不況・1957＝45歳：

安保闘争・・1960＝48歳：

東京オリンピック 1964＝52歳：

いざなぎ景気1966＝54歳：

石油ショック1973＝61歳：

クランプール事件1975＝63歳：

中曽根内閣・1982＝70歳：

・・・・・1984＝72歳：

ジャンボ機墜落1985＝73歳： *30年続けてきた記者を退き，ベースボール・マガジン社顧問となる。

ソ連崩壊・・1991＝79歳： 日本ボクシング協会特別功労賞。

バブル崩壊・1992＝80歳： 半生記「リングサイド・マザー―私とボクシングの半世紀」を出版し，

55年体制終・1993＝81歳： ミズノスポーツライター賞。

自社さ連立・1994＝82歳： 夫が交通事故で死去，

・・・・・1998＝86歳： 没した。

世界思想社「出版女性史」，